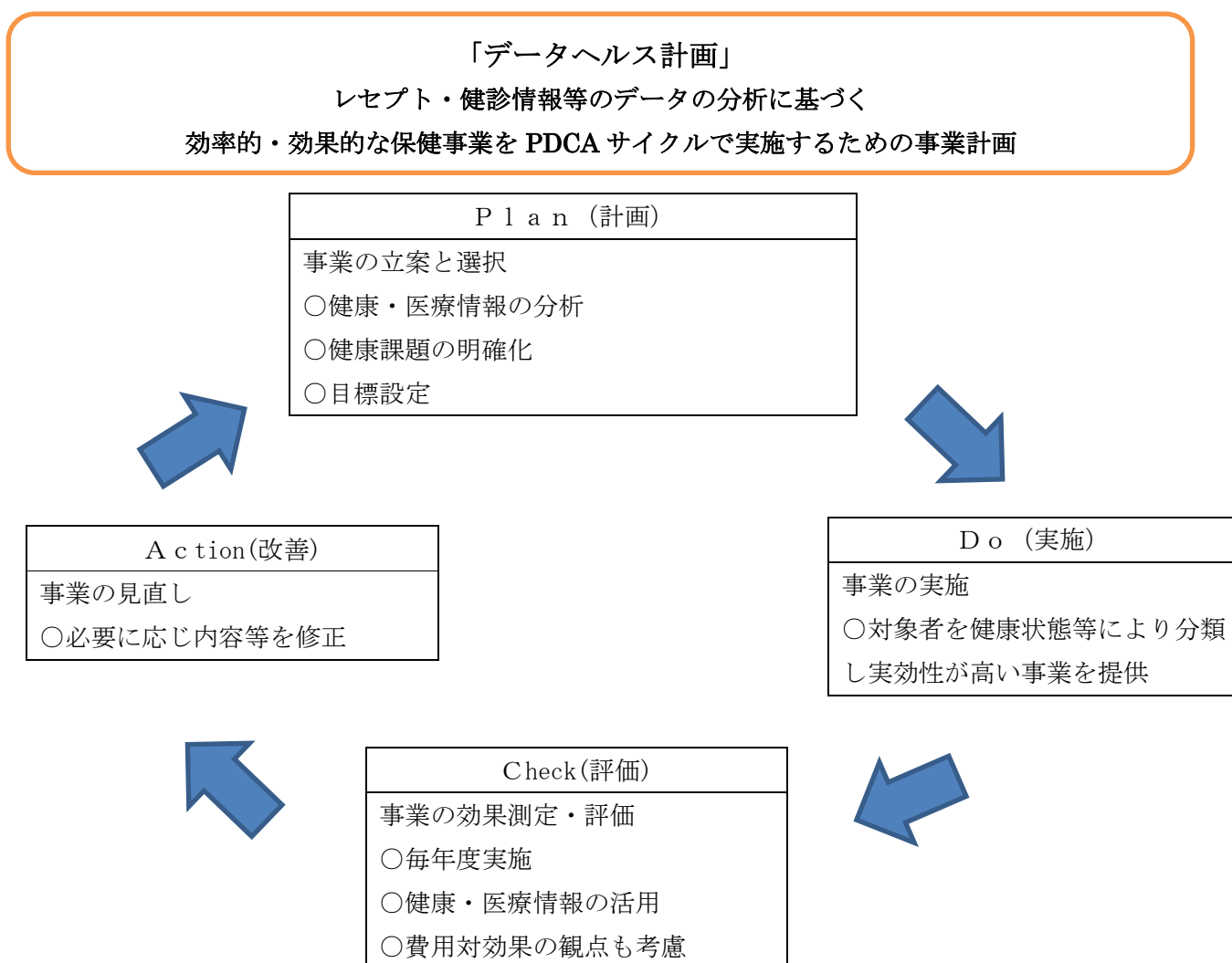


データヘルス計画（第2期）中間評価に向けた現状報告

1 計画の背景

平成25年6月14日に閣議決定された「日本再興戦略」において、“国民の健康寿命の延伸”を重要な柱とし、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」とされ、保険者はレセプト等を活用した保健事業を推進することとされた。

データヘルス計画は、実効性のある事業を継続するため、次のような Plan（計画）、Do（実施）、Check（評価）、Action（改善）の繰り返しにより進めていく。



○計画期間：第1期（平成28年度～平成29年度）（2年間）

第2期（平成30年度～令和5年度）（6年間）

目 的
市民が健康でいつまでもいきいきと暮らすことができる。

市民・被保険者のあるべき姿（目標）：3つの目標

- 1 自分の健康状態を知ることができる。
- 2 疾病発症・重症化予防のための行動ができる
- 3 健康や社会保障制度に関心を持つことができる。

1 高血圧・糖尿病・がん予防のポピュレーションアプローチの強化

重点事業

- ・減塩体感教室開催
- ・広報活動事業強化

2 健（検）診の強化

重点事業

- ・特定健診・がん検診の推進
- ・受診勧奨（生活習慣病予防健診を追加）、アンケートの実施

3 性・年代に応じた生活習慣改善支援の実施

重点事業

- ・児童生活習慣病予防対策
- ・若年層の健康診査(女性の健診、生活習慣病予防健診)

保健事業の
5つの柱

4 重症化予防対策の実施

重点事業

- ・特定保健指導
- ・早期介入保健指導
- ・早期医療受診勧奨
- ・糖尿病性腎症重症化予防訪問指導

5 医療費適正化対策

重点事業

- ・健康保険制度や適正受診の周知

瀬戸市が抱える10の課題

医療費・介護・死因に関すること

- 1 糖尿病・高血圧症などの生活習慣病が医療費の上位を占める。
- 2 1人あたりの医療費が、愛知県内で高く、年々増加している。
- 3 現役世代では、脳血管疾患、糖尿病合併症、がんが要介護の原因の多くを占める
- 4 高額療養費のかかる心疾患等の基礎疾患として、糖尿病・高血圧症が多い。
- 5 がんの医療費は入院外では高額上位で、がん種により差異はあるが死亡率も高い。

疾病の受療数に関すること

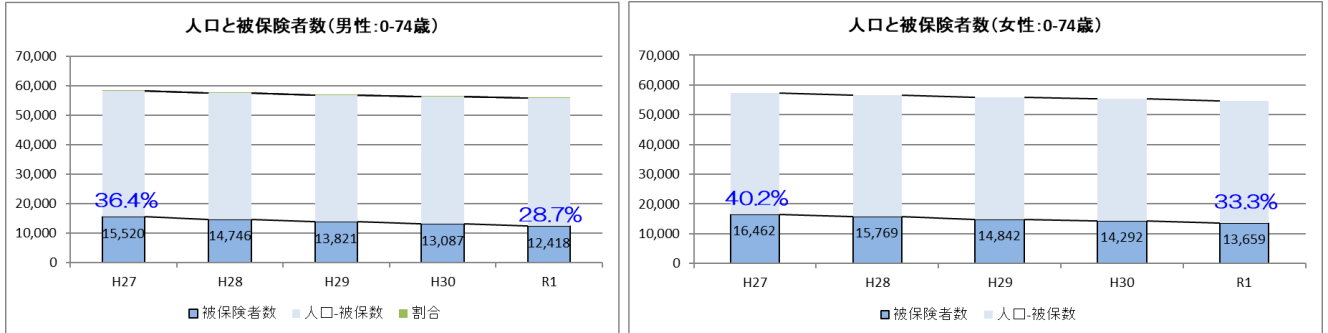
- 6 生活習慣病の受療件数は、県平均と比べ多く、若年層からの発症が増加している。
- 7 肺と胃のがんは65歳以上に、乳房のがん・子宮がんは65歳未満に多い。

保健事業に関すること

- 8 特定保健指導を受ける人が少ない。また指導対象者以外にも、血糖・血圧・脂質に関する複数のリスクを持つ人が一定数存在する。
- 9 健（検）診受診状況では、受診率の低い年代・性別がある。
- 10 既存の保健事業は、健康に対し意欲や関心の高い人の参加に偏っている。

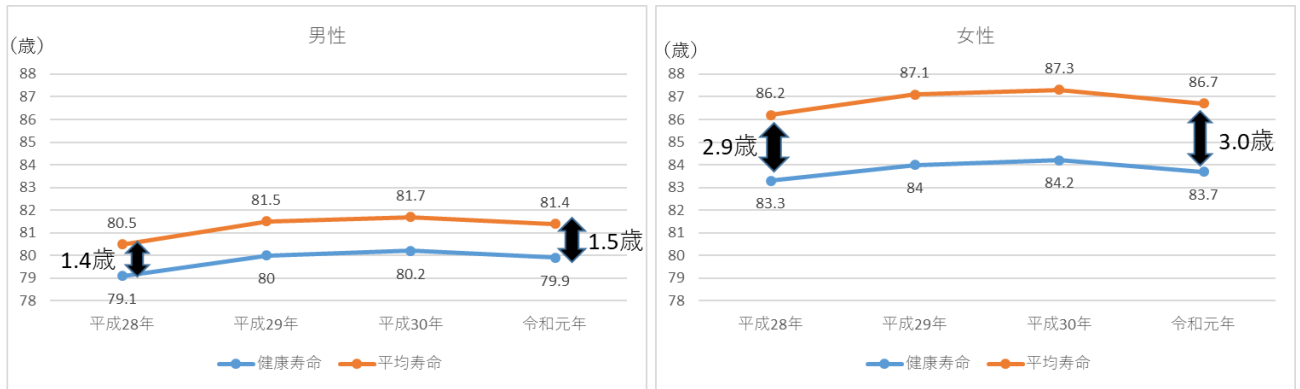
2 瀬戸市の状況

(1) 瀬戸市国民健康保険被保険者数の推移



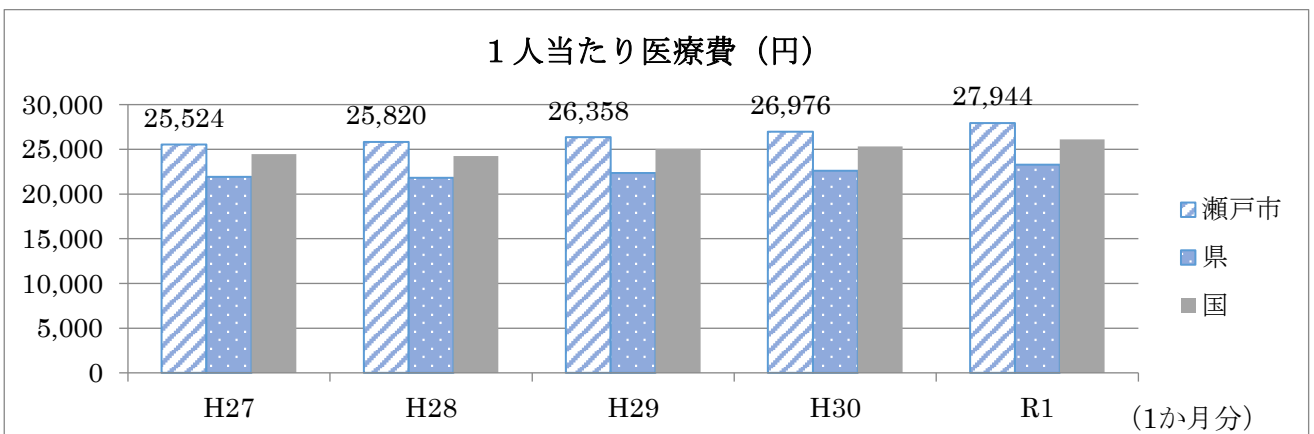
KDB 厚生労働省報告様式

(2) 平均寿命と健康寿命



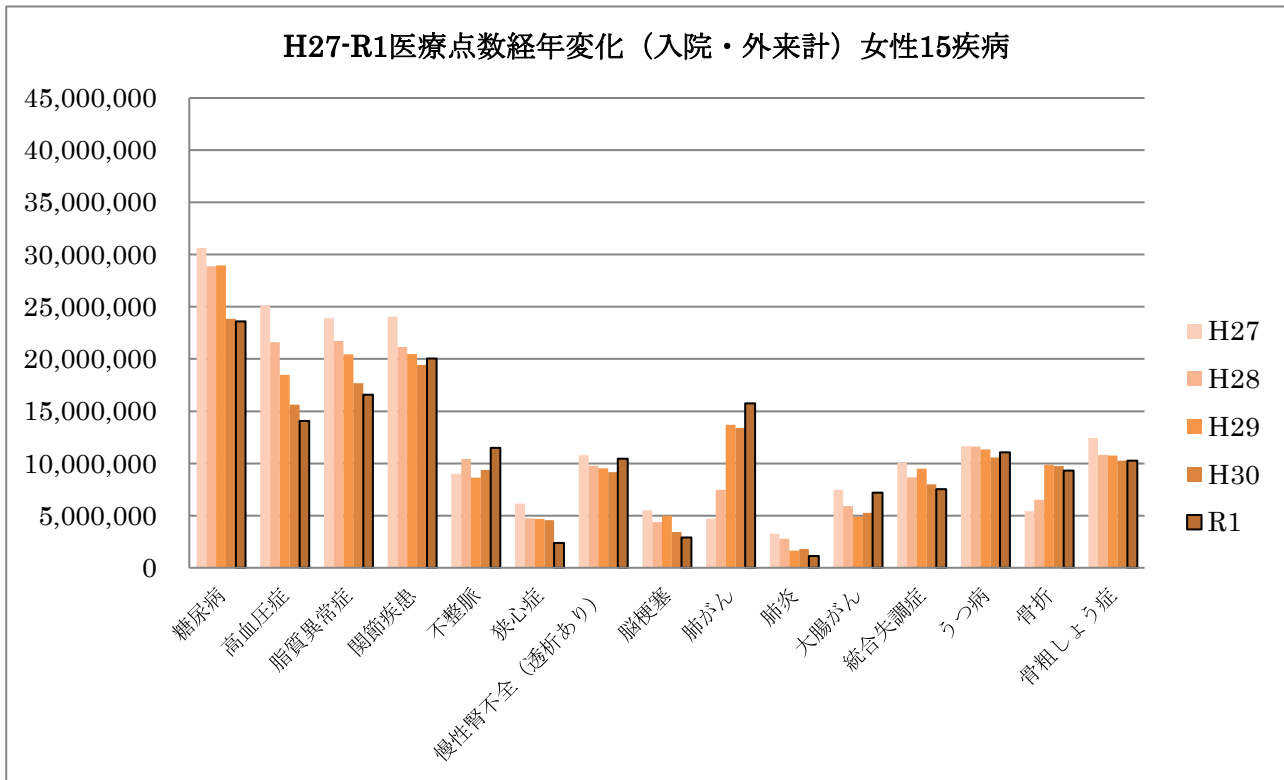
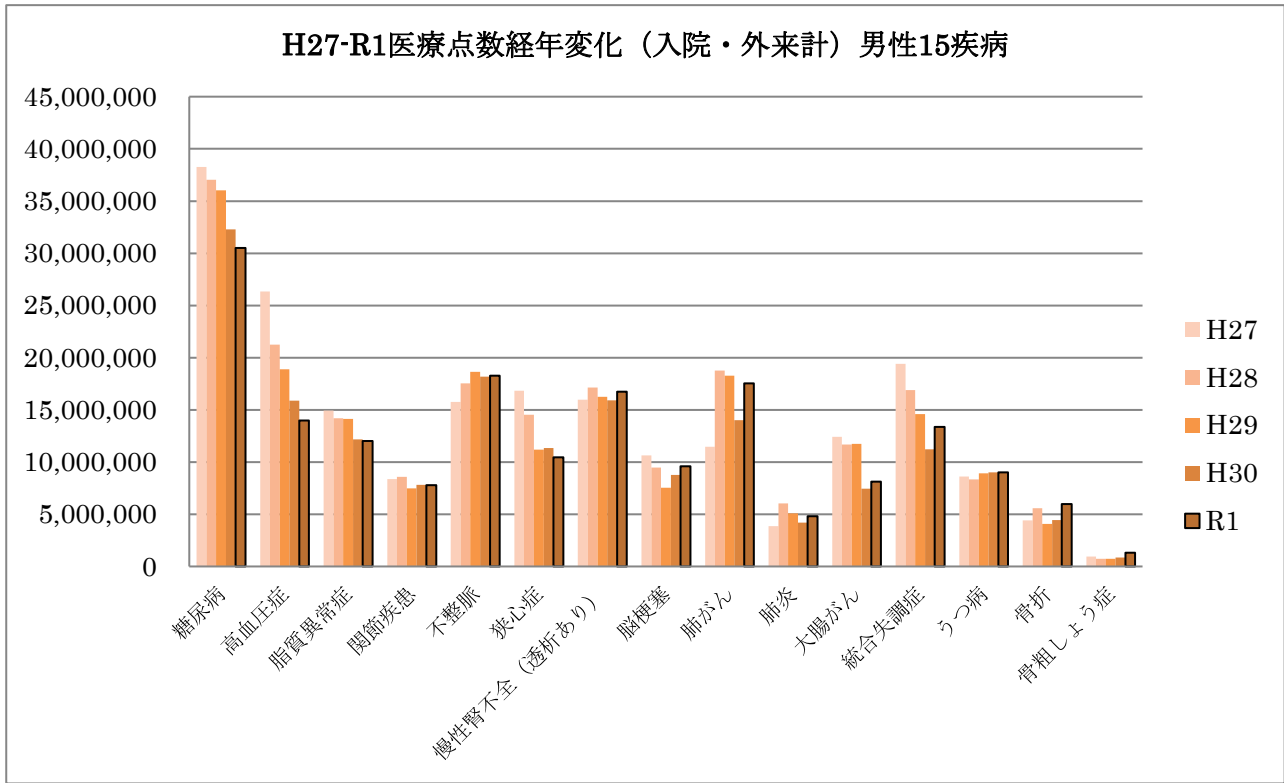
KDB 健診・医療・介護データからみる地域の健康課題

(3) 瀬戸市国民健康保険 1人あたり医療費



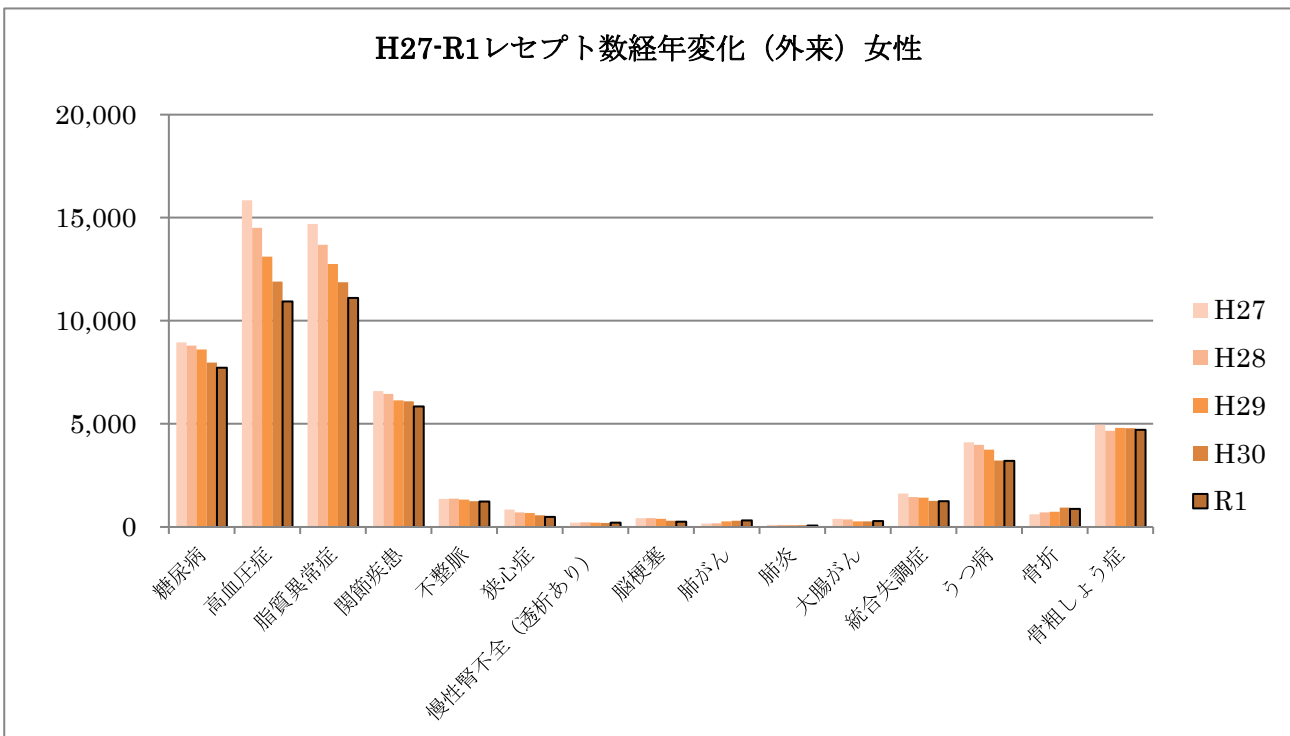
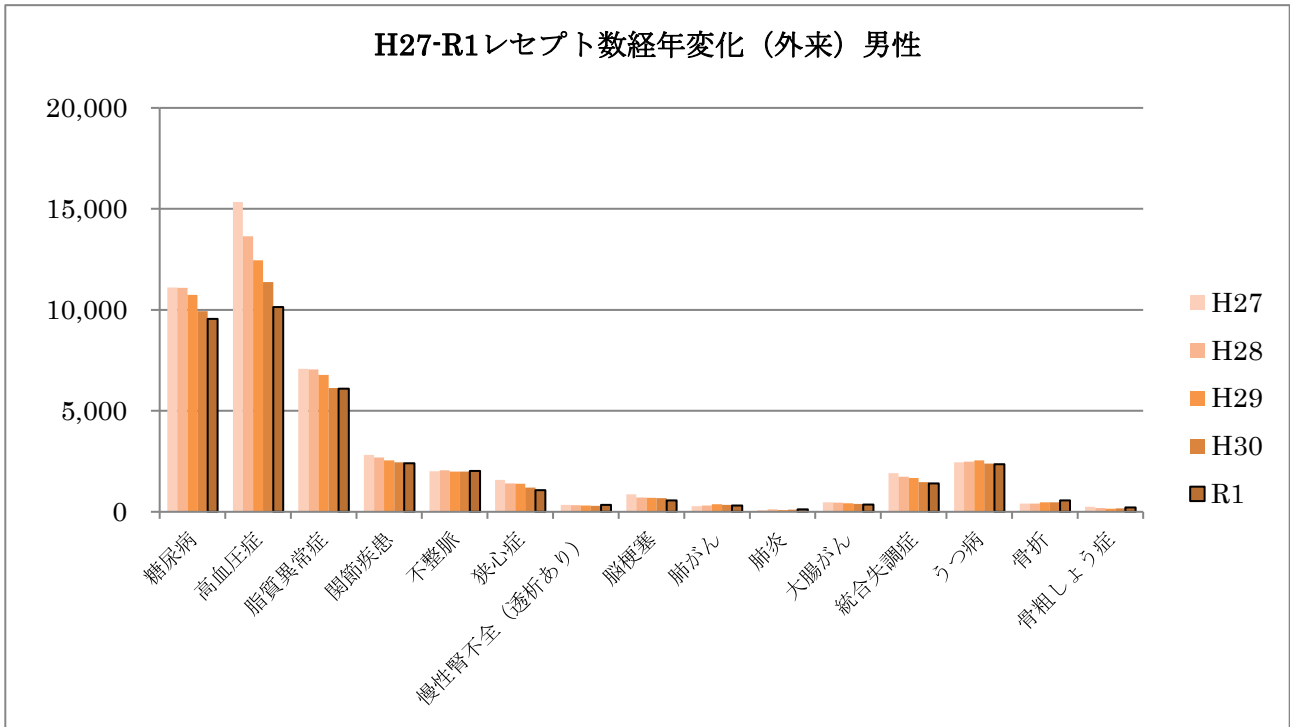
KDB 平成27～令和元年度健診・医療・介護データからみる地域の健康課題

(4) 疾病別医療費の傾向



3 保健事業の5つの柱

(1) 高血圧・糖尿病・がん予防のポピュレーションアプローチの強化



- ア. 瀬戸市保健推進員協議会
市内 20 地区で、関心の高い健康
づくり教室などを企画して活動。
(左写真：健康チェック
右写真：ウォーキング)



事業評価表 No.5

アウトプット		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
参加人数	目標値	延5,700人	延5,700人	延5,700人	延5,700人
	実績値	延4,443人	延6,694人	延5,831人	
	達成状況	77.9%	117.4%	102.3%	

- イ. 瀬戸市健康づくり食生活改善協議会
食や栄養を中心とした健康教室の実施。
(左写真：すこやかクッキング
右写真：男性も料理教室)



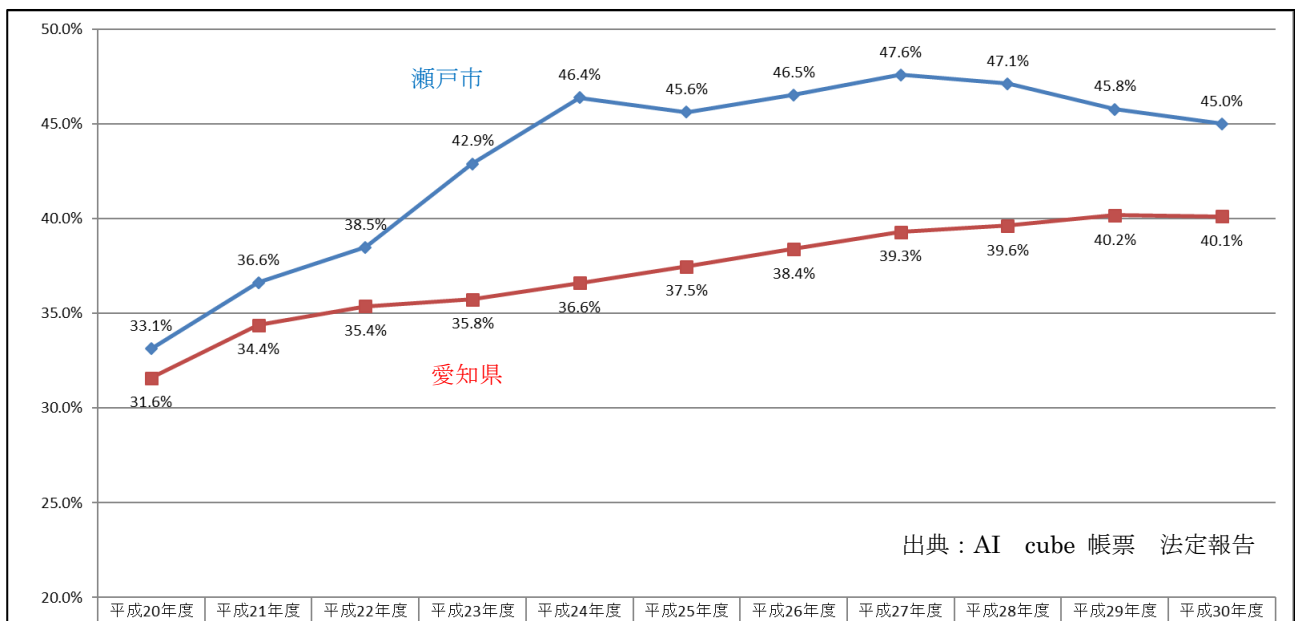
事業評価表 No.6

アウトプット		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
参加人数	目標値	延5,100人	延5,100人	延2,550人	延2,550人
	実績値	延5,013人	延4,701人	延2,598人	
	達成状況	98.3%	92.2%	101.9%	

(2) 健(検)診の強化

特定健康診査 健診受診者の状況

ア 受診率の推移



事業評価表 No.8

アウトプット		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
特定健診受診率(47.1%:H28値)	目標値	—	50%	52%	54%	56%	58%	60%
	実績値	45.8%	45.0%					
	達成状況	—	90.0%					

項目		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
特定健康 診査対象 者数	40歳～64歳	9,318人	8,589人	8,074人	7,371人	6,893人	6,521人	
	65歳～74歳	13,306人	13,584人	13,402人	12,951人	12,530人	11,995人	
	合計	22,624人	22,173人	21,476人	20,322人	19,423人	18,516人	
特定健康 診査受診 者数	40歳～ 64歳	人数	3,135人	2,843人	2,706人	2,480人	2,186人	2,044人
		受診率	33.6%	33.1%	33.5%	33.6%	31.7%	31.3%
	65歳～ 74歳	人数	7,189人	7,478人	7,517人	7,097人	6,708人	6,290人
		受診率	54.0%	55.1%	56.1%	54.8%	53.5%	52.4%
	合計	人数	10,324人	10,321人	10,223人	9,577人	8,894人	8,334人
		受診率	45.6%	46.5%	47.6%	47.1%	45.8%	45.0%

イ 特定健康診査受診勧奨事業

事業評価表 No.10

アウトカム		H29年度	H30年度	R1年度
40歳代の受診率の向上 H28年度 40代 24.7%	目標値	25.7%	24.2%	23.7%
	実績値	23.2%	22.7%	21.2%
	達成状況	90.3%	93.8%	89.5%
50歳代の受診率の向上 H28年度 50代33.6%	目標値	33.6%	33.5%	34.1%
	実績値	32.5%	33.1%	31.6%
	達成状況	96.7%	98.8%	92.7%

上記に加えて、令和元年度は平成26年度から平成30年度の期間中、5年連続受診者・連続未受診者以外の方へパターン別に内容をかえて勧奨ハガキを送付し、下記のとおり受診につながった。

パターン A: 健診問診票にて20歳から体重+10kgで、生活習慣改善の意思がある方 1,860人に勧奨ハガキを送付し1,118人(60.1%)が受診した。



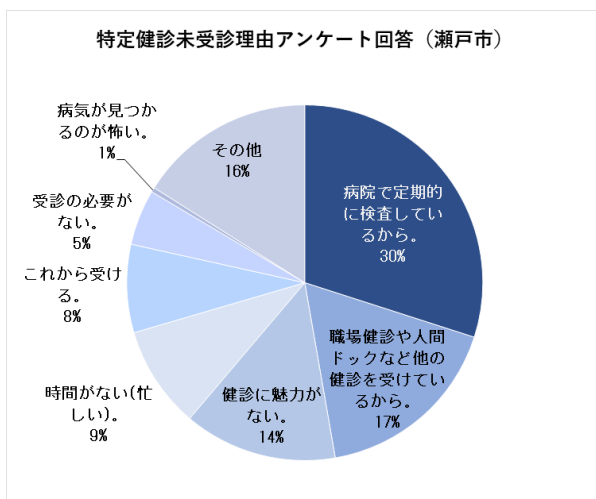
パターン B: 健診問診票にて生活習慣改善の意思がないと把握できた方 2,164人に勧奨ハガキを送付し、1,251人(57.8%)が受診した。



パターン C: A・B 以外の方(健康意識が高い方・40～45歳の方等)3,771人に勧奨ハガキを送付し、1,920人(50.9%)が受診した。



ウ 未受診者アンケートの実施



令和元年度 939 名の特定健診未受診者へアンケートを実施した。239 名の回答があり、回答率は 25.5%であった。

結果は「病院で定期的に検査しているから」と「職場健診や人間ドックなど他の健診を受けているから」で半数を占める。

エ 健診結果からみえる傾向

健診結果有所見の重複割合

	瀬戸市		愛知県		国	
	H29	H30	H29	H30	H29	H30
血糖・脂質	1.1%	1.3%	1.0%	1.1%	1.0%	1.0%
血糖・血圧	1.9%	1.9%	2.6%	2.6%	2.8%	2.9%
血圧・脂質	10.0%	9.8%	9.6%	9.5%	8.3%	8.8%
血糖・血圧・脂質	5.9%	6.4%	6.0%	6.2%	5.5%	5.8%

K D B 平成 29・H30 年度地域の全体像の把握

(3) 重症化予防対策の実施

糖尿病性腎症重症化予防事業(平成30年度より実施)

ア. 受診勧奨

特定健康診査において、血糖値が基準値以上等で未治療と思われるハイリスク者に対して重症化を防ぐため受診勧奨を行うもの。

事業評価表 No.35

アウトプット		H29年度	H30年度	R1年度
勧奨による受診率	目標値	—	30%以上	30%以上
	対象者数	—	8人	56人
	受診割合	—	50.0%	55.4%
	達成状況	—	166.7%	184.7%

イ. 保健指導

糖尿病治療中で、かかりつけ医が保健指導の実施が望ましいと判断し、対象者本人の同意が得られた者に対し、一定期間保健指導を実施するもの。

事業評価表 No.36

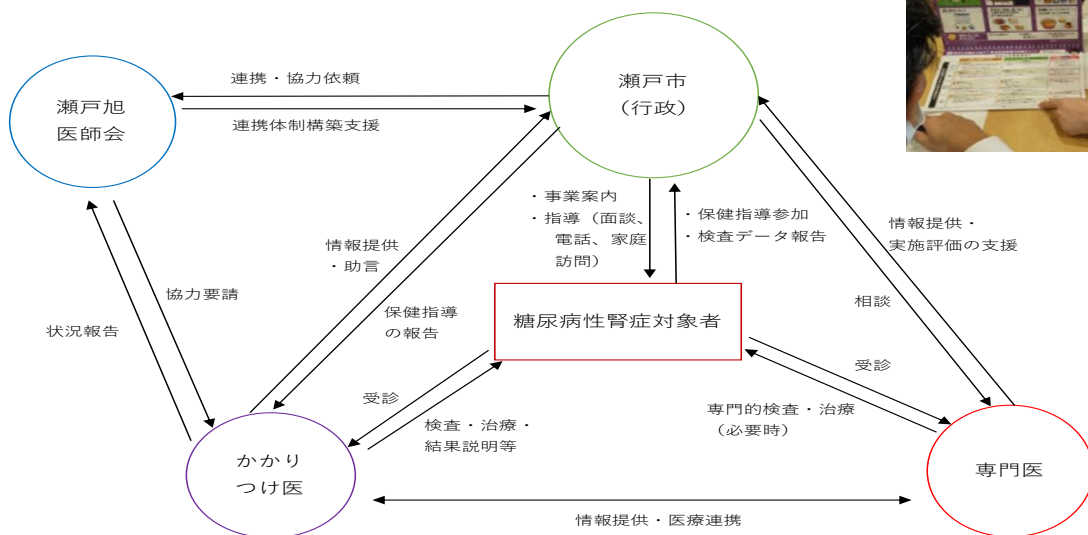
アウトカム		H29年度	H30年度	R1年度
透析新規移行者の減少	目標値	—	前年度より減少	前年度より減少
	実績値	12人	20人	20人
	達成状況	—	増加	横ばい

表5 令和元年度保健指導(個別)実施者の結果

対象	性別	年齢	腎症病期	検査値	紹介時	直近	評価	総合評価
A	男	73	2期	随時血糖	171	—	—	維持
				HbA1c	6.7	6.6	維持	
				eGFR	85	—	—	
B	女	69	3期	随時血糖	183	301	悪化	維持
				HbA1c	10.9	9.5	改善	
				eGFR	60.0	56.6	維持	
C	女	72	1期	随時血糖	130	120	改善	改善
				HbA1c	6.4	6.4	維持	
				eGFR	63.3	—	—	
D	女	69	2期	随時血糖	155	127	改善	改善
				HbA1c	8.1	7.7	改善	
				eGFR	69	64	悪化	
E	男	70	3期	随時血糖	170	—	—	改善
				HbA1c	9.0	8.2	改善	
				eGFR	36	43.4	改善	
F	男	69	2期	随時血糖	130	144	悪化	改善
				HbA1c	7.3	6.3	改善	
				eGFR	64.1	75.5	改善	

※現在、5名は実施途中(6か月未満)

◆糖尿病性腎症重症化予防事業 連携イメージ図



◆事業内容 ※重点事業として実施

ア. 受診勧奨

健診結果とレセプト結果より、糖尿病に関する数値が悪く、受診が中断している被保険者を抽出し、受診勧奨を行う。

イ. 保健指導

既に糖尿病で受診している被保険者に対して、医師の治療に加え、生活習慣の改善等を図れるよう、保健師が丁寧な保健指導を行う。

4 今後の予定等

データヘルス計画（第2期）中間評価の進め方と国保運営協議会について

事務局	各事業の実施結果を集約
	データヘルス計画（第2期計画）に掲載されている事業について現時点での実施結果を確認する。



運営協議会 (11月2日)	各事業の実施結果を報告
	事業の実施結果をご報告し 今後の事業のあり方等についてご意見を伺う。



運営協議会で頂いたご意見は、ここで健康課等と共有し、今後の方向性等を検討します。

事務局	各事業に対して評価を実施
	事業の実施結果等を踏まえ、各事業に対して評価を行う。



事務局	今後の方向性等を検討
	データヘルス計画（第2期）の中で示したデータに現時点でのレセプト・健診情報等を反映させ、瀬戸市の健康課題等の状況を再分析した上で、今後の事業の方向性等について健康課等と協議し、検討を行う。



事務局	必要に応じて事業の見直しを実施
	事業評価や検討結果等を基に、必要に応じて事業内容の見直しを行う。



運営協議会 (令和3年1月頃)	中間評価の結果を報告
	データヘルス計画（第2期）の中間評価の結果をご報告し、ご意見を伺う。